

ショパン ナショナル・エディション 校訂者

パヴェウ・カミンスキ教授 動画出演※

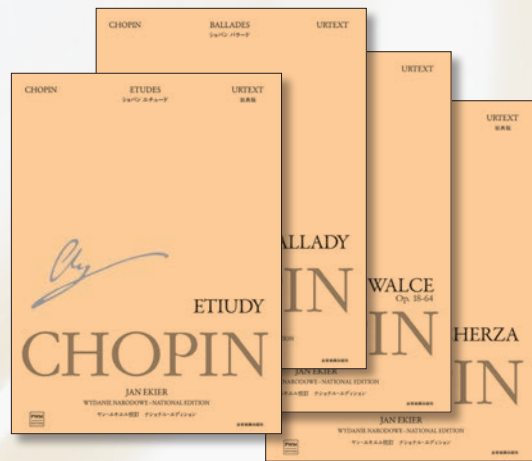
※来日を予定していましたが、健康上の理由により、動画での出演に変更となりました。

日本語版 出版記念

ショパン ナショナル・エディション セミナー

ショパンを弾くうえで必携の原典版楽譜「ショパン ナショナル・エディション」(通称「エキエル版」)。一流ピアニストの登竜門「ショパン国際ピアノコンクール」でも使用が推奨されており、ショパン演奏における決定版として世界的に高く評価されています。

その「ショパン ナショナル・エディション」の解説を翻訳した日本語版が、2021年より刊行中! 本セミナーでは、原書の校訂者のひとりパヴェウ・カミンスキ教授と原出版社であるポーランド音楽出版社(PWM)のディレクター・編集長 ダニエル・チヒ博士をポーランドから迎え、日本語版の監修者である加藤一郎教授とともに「ショパン ナショナル・エディション」を紐解く、たいへん貴重なセミナーです。



内容(予定)

- ショパン ナショナル・エディションのコンセプト
- ほかの版とどうちがうのか?
- 演奏にどのように変化をもたらすのか?
- ショパン ナショナル・エディションから作品を読み解く〜事例と解説
- ショパン ナショナル・エディションを用いたミニ・コンサート

『ショパン ナショナル・エディション』[日本語版]

- | | |
|-------------|-------------------------|
| ●エチュード | 定価3,740円[本体3,400円+税10%] |
| ●バラード | 定価3,080円[本体2,800円+税10%] |
| ●ワルツ[シリーズA] | 定価3,080円[本体2,800円+税10%] |
| ●スケルツォ | 定価3,080円[本体2,800円+税10%] |

※ [シリーズA] は、そのジャンルの作品のうち、ショパンの生前に出版された作品。
※ [シリーズB] は、ショパンの没後に出版された作品。

今後の出版予定については、順次、特設ページ(下記)にてご案内いたします。
https://www.zen-on.co.jp/score/national_edition/

開催日程

2022 **10/19** 水 10:30

カワイ梅田 コンサートサロン ジュエ

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1丁目1-3 大阪駅前第3ビル1F
お申込み: カワイ梅田 Tel 06-6345-8300(月曜定休) 定員40名

2022 **10/20** 木 10:00

カワイ名古屋 コンサートサロン ブーレ

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3丁目15-15 CTV錦ビル2F
お申込み: カワイ名古屋 Tel 052-962-3939(月曜定休) 定員70名

2022 **10/21** 金 10:30

カワイ表参道 コンサートサロン パウゼ

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-1
お申込み: カワイ表参道 Tel 03-3409-2511(月曜定休) 定員130名

●受講料: **2,000円**(税込)

※未就学児童の入場はお断りいたします。

※お申し込みは先着順です。定員に達し次第、締め切らせて頂きます。

動画出演

ショパン ナショナル・エディション 校訂者
パヴェウ・カミンスキ 教授

Paweł Kamiński

ポーランド音楽出版社(PWM)
ディレクター・編集長

ダニエル・チヒ 博士
Daniel Cichy

ショパン ナショナル・エディション
日本語版監修者

加藤一郎 教授
Ichiro Kato

ピアニスト
里見有香
Yuka Satomi

主催 | ポーランド音楽出版社(PWM)  全音楽譜出版社 

共催 | カワイ表参道/カワイ名古屋/カワイ梅田  後援 | ポーランド広報文化センター
日本ショパン協会



ショパン ナショナル・エディションとは・・・

ポーランドの国家事業として、1960年よりヤン・エキエル教授が中心となり制作が進められた、ショパンの原典版楽譜。
ショパンの本来の意図を忠実に汲みながら演奏者のことも考えた編集方針で作られており、
ショパンのすべてのジャンルにおける原典版楽譜を網羅した唯一の存在であることから、
現在では「ショパン国際コンクール」の推奨楽譜としても採用されています。

ポーランド音楽出版社 (PWM)



ポーランド音楽出版社はPWMの呼称でも知られている世界最大規模の音楽出版社の一つ。1945年にクラクフで設立されて以来、楽譜、クラシック・ジャズ・映画音楽関連の書籍や録音ディスク類の出版事業を専門としている。同社の出版対象とする作品には古楽も現代音楽も、ポーランドの作品も世界の作品も、アマチュア向けも専門家向けも含まれ、出版物の種類には教育書や学術書から一般書まであり、書籍・事典類・音源・映像の取り扱い範囲は実に広範にわたる。また同社の楽譜所蔵セクションは、ポーランド音楽の演奏を行う世界中のオーケストラに楽譜を提供する事業を精力的に行っている。PWMはポーランドの音楽関連機関の中でも最もダイナミックに発展を遂げている組織の一つであり、国外のパートナーとともにポーランドの作曲家による優れたポーランドの作品のプロモーションに尽力している。こうした事業を通じて、芸術的対話や学術的考察の場、教授法についての意見交換の場を提供しているほか、古い時代の音楽遺産の記録機関、最新の作品を校訂を経た見事な形で発表する場としての役割も果たしている。

ウェブサイト www.pwm.com.pl

プロフィール profile

ショパン ナショナル・エディション 校訂者

パヴェウ・カミンスキ 教授 Paweł Kamiński



©Mateusz Zaboklicki,
Chopin University of Music, Warszawa.

ショパン ナショナル・エディションの校訂者。ピアニスト。教育者。ポーランド・ワルシャワのショパン音楽アカデミーでヤン・エキエル、アリツィア・パレタ＝ブガイ両氏のもとでピアノを学び、1983年に同アカデミーを優等賞付で卒業。全ポーランド・ショパン・ピアノ・コンクールで3度入賞、また在学中の優れた演奏に対して文化芸術省から賞を授与された。ポーランド国内外で演奏活動を展開。1983年よりショパン音楽アカデミー（現ショパン音楽大学）で教鞭を執る。1985～2010年まで、エキエル教授と共同でショパン ナショナル・エディションを校訂し、全37巻を共同で手がけた。1998年、ショパン・ナショナル・エディション財団の理事長に就任。ヨーロッパ各国やアメリカ、カナダ、中国、日本の音楽大学から招かれてショパンについての講義を行うほか、ショパンをテーマとする学会などにも積極的に参加している。

ショパン ナショナル・エディション日本語版監修者

加藤一郎 教授 Ichiro Kato



東京藝術大学ピアノ科卒業、スイス・ヴィンタートゥア音楽院留学。各地でリサイタル、オーケストラとの共演、室内楽、伴奏などの演奏活動を行い、NHK-TV・FM等に出演。著書に『ショパンのピアニスムーその演奏美学を探る』（音楽之友社、2004年）、『ショパンによるバロック音楽の受容に関する研究』（文科省科学研究費補助金、2017年）等があり、論文多数。ショパン国際会議（ワルシャワ大学：2017年）における発表で高い評価を得る。内外でコンクールの審査員、マスターコースの講師を務める。文科省専門委員を歴任。国立音楽大学大学院教授を経て、現在、同大学特別研究員。日本ショパン協会理事、日本ピアノ教育連盟理事。ショパン ナショナル・エディション日本語版監修者を務める。

ポーランド音楽出版社 ディレクター・編集長

ダニエル・チヒ 博士 Daniel Cichy



©PWM Edition / photo Bartek Barczyk

ポーランド音楽出版社 (PWM) ディレクター・編集長。音楽学者。音楽評論家。ポーランド・クラクフのヤギェロン大学、ドイツ・ハイデルベルクのルプレヒト・カール大学で音楽学を学ぶ。ヤギェロン大学で博士号取得。2013年、ポーランド音楽出版社の編集長に就任。2017年には編集長兼任のままディレクターに就任した。2018年、ポーランド独立回復100周年記念事業の一環として企画された「独立100年の音楽100選」の実行責任者を務める。

ピアニスト

里見有香 Yuka Satomi



東京藝術大学附属音楽高等学校、同大学卒業。ショパン音楽大学修士課程修了。ポーランド政府給費生。ワルシャワ大学音楽学研究所にも学ぶ。東京藝術大学大学院修士課程修了。同大学室内楽教育研究助手を務めた後、現在東京を拠点に演奏活動を行う。後進への指導にも力を注いでいる。第8回ザレンブスキ国際音楽コンクール二重奏部門第1位。角野裕、芹澤文美、芹澤佳司、B.カヴァラ、E.ポブウォツカ、松原勝也、長岡聡季、佐原敦子、K.ボルチンスカの各氏に師事。
<http://satomiyukapiano.com>